

技術士とのふれあい、学生から社会人への第1歩

「技術士を知ろう！」～北海学園大学3年生編～

1. 実施概要

開催日時：H28.11.4(金)12:40～15:10

講義内容：技術士の資格説明

技術士の仕事内容の紹介(講演4篇)

対象者：北海学園大学 3年生 約50名

参加者：仁田、小澤(正)、木本、平岡、千葉、
永井、滝澤、源野、西村、鈴木、斉藤(優)、
藤井、須田(筆者)(以上、幹事)
若森(講師、技術士)

2. はじめに

今年度2回目、通算10回目を迎えた「技術士を知ろう！」北海学園大学編です。今回は昨年度も実施した3年生向けの講演ということで、技術士として建設コンサルタントやゼネコンで活躍している小澤副委員長、西村幹事、滝澤幹事、若森氏、須田(筆者)の5名が、技術士資格の概要や実例を交えた技術士としての仕事紹介をしました。講演終了後には、「技術士と話そう！」と題して、学生からの質問などを題材に、20代の若手技術者である斉藤幹事と藤井幹事による学生に近い視点での懇話を行いました。

3. 「技術士を知ろう！」

(1) 技術士の資格説明

源野幹事の司会でスタートし、まずは小澤副委員長から、技術士の役割・制度・メリット等について説明しました。講演前は、技術士についてあまり知らない学生が大半でしたが、卒業後にJABEE認定課程修了者となる自分たちが技術士の「卵」であることを理解できたと思います。

(2) 技術士の仕事内容の紹介

筆者より、道路計画・設計の概要を紹介するとともに、交通課題や利用者ニーズを把握した上で計画

を立案する重要性について、実例を交えて講演しました。道路計画・設計の面白さが少しでも学生に伝わっていれば幸いです。

西村幹事は、「橋梁メーカーの仕事」と題し、橋梁の設計から施工まで携わっている自身の経験や、コスト削減のための技術的な取り組み等について写真やイラストを用いてわかりやすく講演しました。PC橋を専門とする西村幹事の講演に、学生たちは熱心に耳を傾けていました。

港湾・漁港構造物の設計業務に従事する若森氏は、設計の仕事の流れや、実際に設計を実施し、工事が完了している港等の紹介をしました。

滝澤幹事は、「工法改善により得られる効果」と題して、時間・環境制約のある条件下でコストを抑え品質を確保するための工法改善事例について紹介しました。模型を用いた施工方法の確認事例や、アニメーションでの施工手順の紹介等、非常にわかりやすい講演でありました。

4. 「技術士と話そう！」

斉藤幹事と藤井幹事の司会による懇話では、「学生時代に経験すべきことはなんですか」、「会社の雰囲気はどうですか」等の様々な質問が飛び交い、和やかな雰囲気を実施することができました。



写真-1 学生からの質問に答える小澤副委員長